

### 平成14年11月定例議会にて

毎年、11月から12月にかけて議会が開催されます。11月議会は前年度(平成13年度)の決算の認定を、主にを行います。決算の審査で予算がどの様に使われたかをチェックし、来年度の予算(平成15年度)に活かしていく重要な議会です。

《今回の議会でさち茂人は》

- ・一般質問を行いました。「若年層世帯の住宅対策について」と題し、少子化と定住化対策の取り組みの一つとして賃貸への助成や民間アパート改造費の補助制度を提案しました。
- ・委員会では陳情の審査を行いました。中小企業の当面する金融上の困難の解消と「金融アセスメント法」の制定を求める陳情書を採択しました。これにより、委員会提案の意見書を国へ提出することになりました。

(さちのつぶやき・・・)

意見書というのは僕たち地方議会が国の各省庁などに対して、地域の実情や要望を正式に送りつけて、「僕たちはこう思っている、こうしてくれ、」ってお願いするものなんだけど、実際は多くの意見書が官僚の机に積まれたままだったりする・・・なんて事を聞いたことがあるけど本当に国会議員や大臣は「地方のこと理解する気あるんかー」って叫びたくなる・・・いいすぎ?

### 平成15年2月定例議会にて

2月定例議会はおもに最後の補正予算を協議する議会です。融通できる予算を借金の返済にあてたり、来年度へ繰り越したりします。いつもなら、補正予算議決の後に当初予算(H15年度)を審議するのですが、合併のため新市発足後の6月に年内予算を編成します。今回の議会と委員会では主に質問はしませんでした。次回にご期待を。

### 「新静岡市」出発準備ばたん！！

2月定例議会が2月28日に閉会しました。静岡市の本会議場ともいよいよお別れです。

863項目のすり合わせも無事終了を迎えます。(特別職と議員の報酬を除いて・・・)

そして、4月からは70万人で創る新・静岡市がいよいよスタートします。夢、希望、はたまた厳しい社会情勢、すべてを胸に市民がみんなで新・静岡市を盛り上げましょう。

そして、2年後には全国14番目の政令指定都市となり、静岡県内市町村の牽引力となって、まちづくりと市民生活の向上に努めます。

これからも「さち茂人」は前向きにまちのあり方を考え、積極的に政策提言を心がけて行きたいと思います。

### 政令指定都市になるために

私たちのまち、「静岡市」は横浜市や名古屋市のような都会ではありませんが、同じ権限と財源を活用できるまちになりたいと思っています。

それには、市民・行政・議会の更なる能力の向上が求められます。また、国と県に「静岡市も政令指定都市として十分にやっていけるかどうか？」認めてもらわなくてはなりません。それが、「指定都市移行に係る事務」として今後2年間の課題となるのです。

おもに①区制に関する事。②移譲事務等に関する事。③国との協議に関する事。そして④市民や市内のさまざまな団体、みんなの理解と活動(熱意)による努力が必要となります。

私から皆さんにお願いしたい! 「まちづくりの手段として、政令指定都市を目指そう。」

### 4月には新静岡市の顔が決定します。

### さち茂人は「こじま善吉」を応援します。

#### 何故、こじま善吉か?

- ①静岡市・清水市の合併を成し遂げました。
- ②2年後の政令指定都市を実現できるのは「こじま」しかいません。
- ③厳しい財政状況の中、行事を進め、300人近い市職員を削減しました。さらに情報公開の推進や地方分権に備えた静岡市を考えてきました。
- ④若者の将来を憂い、成人式を通して社会参加のあり方を論議しました。結果、公の式典以外に現在は成人を迎える若者が独自に式典(税金を使わない)を運営しています。
- ⑤高齢者福祉に全力を投じてきました。結果、老人ホームは増え、福祉に対する意識が建設面(ハード)、サービス面(ソフト)、また雇用面でも着実に良くなっています。また、健康なお年寄りが充実した生活を過ごせる対策や、寝たきり予防にも力を入れています。静岡市の福祉水準は全国的にみても高くなりました。
- ⑥幹線道路を車で走ってみてください。右折帯が増え、車が走り易くなったと思いませんか? 交通の現状に即した道路整備を心がけています。また、効果のある道路整備を考えています。
- ⑦なによりも清廉で公正公平な市政の実績があります。
- ⑧最後に私だけでなく、将来を考える20歳代、30歳代の市議、県議の全員が支援の表明をしています。



日本平に君は行きたいかい？

A どうも最近、仲間の僕に対する態度が冷たいと思うんだけど？

Q そうだね。僕もそうだし(笑)。

A みんな忙しいし、君もこの1年くらい本当に忙しそうだったし、話をする機会が減ってるからね。

Q 新聞も配ってないし・・・やばいよねー。

A 昔みたいにドライブに行ったり、お酒飲んでみんなで騒ぎたいなあ。

Q ドライブって言えば、この間の新聞に日本平の整備のことが載っていたよね。いつリニューアルするんだい？

A 最近はその本に行かないよね。日本平は・・・

Q そうだね。今回の日本平の整備の話は十四年四月ごろ静岡と清水の両市長から持ち上がってきて具体的になって来たんだ。ちょうど新市建設計画にも記載されていたし、新市の真ん中で、「お互いに交流しあう場所だ。」ということだね。

A また、僕たちも行かなくなっただけで、観光客も減っているから見直すには良い機会ではあるかもね。

Q 観光客って来るのかい？

A いろいろいいかい、昭和五十二年には約二百八十万人が日本平を訪れているんだ。

Q それが平成十三年には百四七万人に減少した。各地でいろんなテーマパークができた影響かな？

A シーガイヤとかハウステンボスかい？

Q みんな大変みたいだね。

A ・・・まあ、それは置いて、人の価値観も変化してきていることは確かだと思うよ。バブル崩壊以前は日本平もいわゆるヤング層が多く訪れたように、近年では熟年層やニューフifty(五十歳代以上)の人が多く訪れる傾向があるようなんだ。

Q それじゃあ僕らが行かないわけだね。

A 確かに。そこで今回は県の調査や市民の意見などを基に観光客にも地元市民にも気軽に何度でも訪れてくれるような公園的な整備を行う予定なんだ。

Q それはいつ頃にできるんだい？目玉は何があるのかい？

A まあ、聞いてくれよ。

Q 今回の日本平整備計画は、平成十五年から十年間でおよそ百一億円の予算で行われる予定なんだ。そしてまず最初に山頂部の「観音の丘ゾーン」を整備する計画がある。

Q なんだい？ そのゾーンって？

A 展望園地とも呼んでいるんだ。要するに展望台と公園のことだね。有度山は全体で二千haほどあって、

8つの土地利用方針に分けられるんだ。

A 広いから、例えば自然環境を保全する地区とか生物の生息を守る環境地区(オオタカも生息)、農業や緑とのふれあいの地区や今回整備予定の山頂交流拠点など。

Q そして、山頂交流拠点は八十八haあって、またまた8つのゾーンに分けられるんだ。そのゾーンのうち七、二haが今回の展望園地ということになる。

A ふーん。それで具体的な内容は？

Q 見晴らしが良いこの地区(山頂)は富士山の眺めもいいし、清水港の夜景もきれいなのは知っているよね。

A しかし、展望台は今までもあったんだけど、各方向しか眺めることができなかったんだ。そこで、テレビ塔の新規設置と合わせて、三百六十度見渡すことのできる展望台を造ろうと考えているんだ。

Q いつだい？

A テレビ塔が平成十八年から十九年までにできる予定で展望台は平成十五年に協議会を開催して内容を詰めて、早ければ平成十六年度に設計して平成十七年度に工事でできる運びのようだよ。

Q 気が早かったー。来年にはできるもんだと楽しみにしてしまっただよ。

A 残念でした。

Q でも、ちょっと楽しみが出来たよ。

A それで、日本平の整備ってこれからどうなるの？

Q うん。はっきりと決定はしていないんだけど、パークウェイの無料化や遊歩道の整備、はたまたロープウェイの延長(草薙方面から上る)などが話しには出ているよ。それから、

A 現在の国道150号を通ってまっすぐに道が進み、有度山中腹幹線が山の北側を通るなんて話もある。

Q そうなれば、清水がもっと近くなるね。

A そうだね。新静岡市の若者も日本平に戻るといいね。

Q そして、県外から来たお客さんを日本平に連れて行って自慢したいね。富士山が見えるのはもとより、静岡の南アルプスや、清水の三保の海岸、港や静岡市街地の眺めを見て、「どうだい？僕たちのまちは？海も山も自然がいっぱいでいいところじゃ？」って。それから、僕ら市民も景色に負けないうえらい自慢の出来る市民になって行きたいよね。

Q いいねえー。今から整備される前だけ日本平へ行こうよ。行きたくなくなったよ。

A よし、行こう！(現在、午前1時・・・)

### 編集後記

あと1ヶ月程で、清水市と合併をするのですが、みなさんは実感がありますか？

私は実感が余りありません・・・ 静岡市民にとっては合併する事で変わる事が少ないからだだと思います。住所もこれまで通り「静岡市」ですから、でも清水市の人は大分違うみたいですね・・・

今まで慣れ親しんだ「清水市」という住所表示が無くなっちゃうわけですからね！(清水市民の気持ちを考えると少し申し訳なくも感じます・・・)

次号は新静岡市が誕生したからの発行になると思います、そうするとこの新聞も発行部数を増やさなきゃいけないかな・・・

今後とも頑張って、新聞を作っていきますのでみなさんどうぞよろしくお願いします。

平成 15 年 2 月 吉日 発行

発行責任者: 林 稔久 編集担当: 上條、小泉、島村、田中  
静岡市八幡 5 丁目 14-13

TEL: 054-287-0939 FAX: 054-286-4096



今月の佐地クン 子ども会にてクリスマス会でサンタ役の佐地クン